

平成29年度

特別養護老人ホームしらいわ

事業報告書

特別養護老人ホームしらいわ
短期入所サービスしらいわ
デイサービスセンターしらいわ
しらいわ居宅介護支援事業所

社会福祉法人 悠々会

1. 特別養護老人ホームしらいわ (短期入所生活サービスしらいわ)

はじめに

平成18年10月に開所し約12年が経過し、平成24年4月には入居30床、ショート10床の増床が完成し100床の施設となった。

平成29年6月にショート 20 床を全て特養(ホーム)への転用を行い100床すべて特養(ホーム)の施設となった

平成27年度に介護保険法の改正があり、特養入所要件が要介護 3 以上となりましたが、要介護 1, 2 でも特例入所として緊急性や必要性を重視し入所に努めました。その他、山形県及び寒河江市特別養護老人ホーム入所指針に基づき、入所申込み順番以外でも緊急性や必要性を重視した入所優先順位を合議決定するため入所検討委員会を設置し、計画的な入所に努めた。

1. 入所状況の推移

① 入所サービス事業の稼働率の確保

入所定員 100 名に対し、年間を通して93%の稼働率となった。

表 1 入所サービス稼働率の推移 p 7

表 2 性別年齢別分布・要介護度表 p 8

② 短期入所生活介護事業の利用状況

指定介護支援居宅事業者及び包括支援センターなど医療機関との連携を密にし、退院後に在宅復帰が困難な方も積極的に受け入れ、6月のホーム転用までの2か月を85%の稼働率を確保した。

2. 事業計画の達成状況

① 研修への参加実施による職員の意識向上について

職場外研修については、12ページに記載のとおり、多岐にわたる研修に派遣を行うとともに積極的に参加を促すことができた。しかし、職場内研修においては主にリーダー会議を中心に介護検討をする場は増えたものの、リーダー以外の介護職員への教育や意識向上を図る場が少なかったと思う。今年度の計画では施設見学の他、各研修へリーダー以外を派遣し、職員全体の意識向上を図りサービス向上に努める。

② 職員の各委員会活動について

計画では入浴・排泄・介護検討・整容・環境と5つの委員会活動を随時行う予定だったが問題を提起し、検討する機会が少なかった。構成人数を検討し3名程度での各係として再編成した

③ 入所待機者処遇について

H29年6月のショートから特養(ホーム)への転用に伴い、開所時にスムーズに入所するよう待機者調査を実施していたが、職員の不足によりホーム10床を9月まで閉鎖。また、昨年度は亡くなった方が33名と一昨年より2倍と多く、100床満床について期間を要した。(7ページ稼働率の推移参照)

④ 資格取得について

ケアマネージャー、介護福祉士の養成について内部で模擬テストの実施や資格取得助成金を支給。新たにケアマネージャー2名、介護福祉士2名が合格した。また、資格のない職員について、奨学金制度を利用し3名がヘルパー2級の資格を取得できた。

⑤ 施設内感染予防対策について

感染症予防マニュアルの活用の他、薬液による施設内清掃や近隣の感染状況の把握と感染予防を目的とした面会謝絶の期間を設けたことで、職員では数名罹患者はいたが入居者においては1名の感染者も出さなかった。

3. 精神生活の充足活動

入所者の障害の軽減ないし克服を目指し機能回復訓練、行事、レクリエーションなどの実践によって得られる精神的・身体的充足は大きなものである。

① 生活リハビリの実践

生活の全てがリハビリの視点に立ち、日常生活の中で自分のできる範囲のことは、極力自立支援の気持ちを持ち、危険の無いよう見守りと最低限の介助を行ない、生活リハビリを実践した。

② レクリエーションの充実

なかなか外に出る機会のない入所者をドライブ、散歩等に連れ出し、外の空気に触れる機会をつくった。また、季節を感じれるようなお茶会やドッグセラピーを実施し入所者の心身の充実に努めた。

表 3 年間行事 p 9

③ 理美容の実施

施設内に理容室を整備し、理容業者有志の積極的協力を頂き、毎週月曜日及び随時対応の実施を行った。

4. 健やかな身体維持の確保

入所者の重度化が進んでいる中で、施設における医療は不可欠なものとなっている。心身の安定を図るためにも、施設看護師はその健康管理が重要であり、医療機関との円滑な連携を図りながら早期の治療に努めた。

(1) 診療体制の確保

① 協力病院との緻密な連携

入院治療を必要とする場合の協力病院として、山形県立河北病院及び寒河江市立病院に協力を依頼し、入院治療の体制を確保している。

表 4 入所者入院日数 p 10

② 主治医定期検診及び往診診療の確保

内科週二回、精神科月二回の定期日以外も必要に応じ、その他の診療科目も含め随時、適時の診療確保に努めた。

表 5 主治医診察(回数) p 10

表 6 往診及び受診(外来)ホーム p 10

表 7 往診及び受診(外来)ショート p 10

③ 水分補給の徹底

尿路感染症対策及び脱水症の防止は、高齢者の健康維持に最低限の必要不可欠事項であり、当施設においては、個別的対応にて毎日の水分量にプラス、コップ一杯分(約200cc)を目安に提供することにより適切に脱水予防に努めた。

④ インフルエンザ、胃腸炎等の感染症予防対策の強化

県内外の感染症流行状況について保健所情報を確認しながら、手洗い、マスクの着用を徹底し、外部(職員・面会者)者からの感染防止に施設全体で取り組み、さらにインフルエンザ対策として、本人および身元引受人の承諾のもと、入所者に予防接種を実施し施設入所者の感染の防止に努めた。また、感染予防として外部面会禁止等の措置を実施した為に職員2名が感染したものの入所者は感染することなく施設での生活を送ることができた。

表8 週間予定表 p 11

表8-1 状況報告 p 11

5. 楽しい食生活をめざして

食べ物を楽しい気分でおいしく食べていただくため、行事食等を取り入れ、適時適温の食事を提供すると共に、環境にも配慮し喜ばれる食卓づくりに努めた。

更に、安心して食べていただくために、新鮮な食材を購入し、調理作業工程に最善の注意を払いながら食中毒予防に努めた。

また、標準体重、年齢から適正カロリーを計算し、各個人にあったカロリー提供に努めた。

① 利用者に合った食事形態の実施

見た目にも食欲が出るような盛り付けを目指し、ミキサー食、軟菜食、常食の3形態にして継続的に実施した。

軟菜食は何の料理かわかるようにある程度形が残り、やわらかく飲み込みやすい料理に仕上がるように、素材の選択と調理に工夫をした。

② 変化に富んだ食事の提供

- ほとんどの入所者が好物であるぼた餅料理を毎月2回実施し、また最も食中毒の発生しやすい時期を除き、刺し身、寿司を提供した。
- 通所介護において、利用者自らがメニューを選ぶ選択食も実施した。
- その他、旬の素材を利用した献立を取り入れると共に、地区のお祭りを始めとして、3月の彼岸まで、年間行事に合わせた献立を提供した。

③ 他職種との連携

介護・看護など他職員との密接な連携のもとに、入所者の健康状態の変化に合わせ、随時適時に食事の量及び献立内容の変更を行ない対応に努めた。

また継続的な取り組みとして、嚥下障害を持つ入所者が、できる限り口から食事を摂取するという人間本来の楽しみを維持し経管栄養に頼らないような個別の取り組みを行い生活の質向上に努めた。

④ 衛生管理の徹底

調理器具の殺菌、厨房内の清掃を徹底的に行い、食中毒防止のため細心の注意を払うと共に、献立内容及び食材を吟味し、勉強会を実施するなど安全な食事提供に努めた。

6. 施設強化事業

業務運営方針に基づき、施設入所者の処遇向上及び環境整備のみならず、施設職員による適切な職場環境の保全整備を含め、あらゆる面からの支援に努めた。

(1) 災害時の対応について

地域消防団及び西村山広域行政事務組合消防署の積極的な協力体制のもと計画的に防災訓練を実施した。8月3日、12月15日)

また、村山地区の高齢者施設間の災害時施設相互応援協定を締結し、災害時における施設間の連携体制を整えた。

(2) 職員の確保について

H29年6月の地域密着型特養新設を見据え、高校、大学、ハローワーク等の関係機関を定期的に訪問し新職員の確保に努めた。

(3) 職員研修について

職場にとって、人材育成が最重要項目であり、山形県社会福祉研修所及び山形県老人福祉施設協議会主催の外部研修を中心に職員を派遣し、基礎知識の習得に努めた。

また、看護師をたん吸引等の指導者研修に派遣し、職場外の研修でも指導看護師として介護員の指導にあたった。

表9 研修状況報告書 職場外研修 p 12

同上 職場内研修 p 13

(4) リスクマネジメントの実施

一つ一つの事故を詳細に分析し、今後同じような事故を起こさないよう、リスクマネージャーを中心に原因究明と今後の予防について、職員に周知徹底を図った。

また、朝礼、介護検討等において、事故の再現、検証を行い、職員全員で再確認する様努めた。

(5) 実習・研修の受入れについて

老人福祉施設に働く人材育成ならびに現施設職員の自己啓発の意識向上の一環として積極的に実習生の受入れを行い、現場にも良い影響を受けた。

表10 実習受入状況 p 13

入所サービス稼働率の推移

平成29年度

表 1

	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム				短 期 入 所							
	利用者数(a)	利用日数(b)	稼働可能日数(c)	利用率(b/c)	利用者数(a)	利用日数(b)	稼働可能日数(c)	利用率(b/c)				
4月	80	2,390	2,400	99.58	35	527	600	87.83				
5月	81	2,474	2,480	99.76	32	519	620	83.71				
6月	93	2,663	3,000	88.77	X							
7月	91	2,732	3,100	88.13								
8月	90	2,733	3,100	88.16								
9月	90	2,632	3,000	87.73								
10月	97	2,837	3,100	91.52								
11月	99	2,825	3,000	94.17								
12月	100	2,888	3,100	93.16								
1月	99	2,860	3,100	92.26								
2月	100	2,751	2,800	98.25								
3月	100	3,086	3,100	99.55								
合計	1120	32871	35,280	93.17					67	1,046	1,220	85.74

性別年齢別分布・要介護度表

表 2

年齢別分布表

平成30年3月31日現在

(イ)

性別	年齢						合計
	～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	
男性	0	1	1	15	6	0	23
女性	0	0	4	36	35	2	77
合計	0	1	5	51	41	2	100
比率(%)	0.0	1.0	5.0	51.0	41.0	2.0	100.0
						90歳以上	43.0 %

平均年齢

(ロ)

平均年齢	男性	85.7
	女性	89.2
	合計	88.4

要介護度別分布表

(ハ)

要介護度	人数	比率(%)
要介護 1	1	1.0
要介護 2	3	3.0
要介護 3	21	21.0
要介護 4	44	44.0
要介護 5	31	31.0
合計	100	

平均介護度 4.0

平成29年度 行事報告

月	日	行 事 ・ 会 議	内 容
4	4	入所者健康診断	94名
	14	桜餅作り	多目的ホール
	18	誕生会	琴操会（大正琴演奏）
	24～	観桜バスハイク	チェリーランド、間沢地区
5	1	賀詞贈呈式	百寿1名
	10	清拭タオル縫いボランティア	高松地区婦人会 4名
	17～	バスハイク（つつじ見物）	長岡山
	22	誕生会	永山彩子さん（ピアノ演奏）
6	8	清拭タオル縫いボランティア	白岩地区婦人会 4名
	21	誕生会	流れ星の会（津軽三味線）
	30	ドッグセラピー	各ユニット巡回
7	12	清拭タオル縫いボランティア	高松地区婦人会 5名
	25	誕生会	紅花歌謡会（歌謡曲）
	31	七夕喫茶会とうちわ作り	多目的ホール
8	4～	壁装飾製作	各ユニット
	9	しらいわ盆供養(洞興寺住職 澄江寺副住職)	対象22名(8家族8名参加)
	23	誕生会	アスポーツさがえ（フラダンス）
	31	納涼会（かき氷、紙しばい、カラオケ）	多目的ホール
9	11	秋の壁装飾製作	各ユニット
	13	清拭タオル縫いボランティア	高松地区婦人会 4名
	29	しらいわ交流会	38家族38名参加
	29～	誕生会	各ユニット
10	5, 6	バスハイク（コスモス見物）	チェリーランド
	11	陵西中学校ボランティア（窓拭き・合唱）	3年生11名
	13	誕生会	つくしんぼコーラス（合唱）
	25	賀詞贈呈式	白寿4名 米寿5名
11	1	陵西中学校ボランティア（窓拭き・合唱）	3年生11名
	15	誕生会	藤好会（舞踊。歌謡）
	16	清拭タオル縫いボランティア	白岩地区婦人会 3名
	30	高松小学校ボランティア（合唱・合奏・昔の遊び）	27名
12	5	誕生会	琴操会（大正琴演奏）
	15	クリスマスツリー作りとお茶会	多目的ホール
	21	クリスマス会	つくしんぼコーラス（合唱）
1	12	誕生会	桜ゆう子さん（歌謡）
2	5	節分豆まき	各ユニット
	15. 20	チョコフォンデュパーティー	多目的ホール
3	28	誕生会	職員合唱
	27	誕生会	太田敦子さん安孫子慎一郎さん（ギター・歌謡）

イベント	四季折々に合わせた行事やちぎり絵など	※不定期で各ユニット毎のレク
------	--------------------	----------------

入所者入院日数

(平成30年3月31日現在)

表 4

月	人数	入院日数	月	人数	入院日数
4月	0	0	10月	2	30
5月	0	0	11月	5	80
6月	1	6	12月	5	84
7月	2	27	1月	2	23
8月	1	31	2月	2	12
9月	2	35	3月	1	15

表 5

主治医診察(回数)

(平成30年3月31日現在)

科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	診察人数	1594	1597	1949	1760	1940	1753	1928	1882	1860	1751	1870	2090	21974
	診察回数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244
精神科	診察人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	28
	診察回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	診察人数	1596	1599	1951	1762	1942	1755	1930	1884	1862	1754	1873	2094	22002
	診察回数	22	22	24	22	24	22	23	22	22	21	21	23	268

往診及び受診(外来)

ホーム

表 6

(平成30年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
皮膚科									2	3	1		6
内科	2	7	13	8	6	3	2	5	3	2	1	1	53
脳外科	1		1	2				1	1			1	7
眼科			1		2		1			2		1	7
歯科			1	1	6	2		2	2		1	5	20
整形			5			4	12	12	5	5	4	12	59
耳鼻科					2								2
外科			1				1		2				4
泌尿器科				1	1	1	4	4	1	1	2	1	16
神経内科													0
婦人科											2		2
放射線科	1											2	3
精神科													0
計	4	7	22	12	17	10	20	24	16	13	11	23	179

往診及び受診(外来)

ショート

表 7

(平成30年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
皮膚科													0
内科	2	2											4
脳外科													0
眼科													0
歯科													0
整形	2	2											4
耳鼻科													0
外科													0
泌尿器科													0
神経内科													0
婦人科													0
精神科													0
放射線科													0
計	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8

週間予定表

表 8

曜日	業務内容
月	血糖測定
火	処方薬整理
	血圧測定
水	定期処方箋
木	3か月に1回 DM、バルプロ酸、ジゴキシン、電解質採血
金	第一、三週 精神科回診(小関Dr)
	定期処方箋、隔週小原病院分
土	回診車整理、材料滅菌
	医務室清掃
日	第1体重測定。低栄養ハイリスク者は第3も実施

状況報告

表 8-1

月	内容	月	内容
4月	入居者健康診断	10月	職員インフルエンザ予防接種 入居者健康診断(採血)
5月		11月	入所者インフルエンザ予防接種
6月		12月	
7月		1月	
8月		2月	
9月	介護員 健康診断(夜勤者のみ)	3月	全職員 健康診断

職場外研修

	研修名	月日	主 催 者	参加者数
職場外研修	地域ケア情報交流会・主任ケアマネ連絡協議会	4月14日	寒河江市	3
	地域ケア会議	4月18日	寒河江市	1
	山辺高校介護実習指導担当者会	4月19日	山辺高校	2
	地域ケア会議	5月16日	寒河江市	1
	介護保険関連事業所説明会	5月23日	寒河江市	2
	介護保険関連事業所連絡会	5月25日	寒河江市	2
	デイサービス生活相談員研究会総会、第1回定例会	6月9日	県老施協	1
	地域ケア会議	6月20日	寒河江市	1
	介護保険施設等集団指導及び制度等説明会	6月28日、29日	山形県村山総合支庁	3
	地域ケア会議	7月18日	寒河江市	1
	主任介護支援専門員連絡会	8月17日	寒河江市	1
	山形県生活相談員研究会第2回定例会	8月24日、25日	県老施協	1
	主任ケアマネ更新研修	8月1、24、9月4、5、12、13、10月3、4、	県老施協	1
	特定給食施設等栄養士及び調理師等研修会	8月29日	村山保健所	1
	加算取得のための支援セミナー	8月29日	介護労働安定センター	1
	地域ケア会議	9月19日	寒河江市	1
	ネットワーク研修	9月22日	訪問看護ステーション	2
	特養部会施設長研修会	9月26日	県老施協	1
	西村山管内特別養護老人ホーム施設長会議	10月5日	西村山管内特養	1
	介護支援専門員更新研修	10月5,19日11月7,14日	県老施協	1
	デイサービス生活相談員研究会総会、第2回定例会	10月12,13日	県老施協	1
	特定給食施設等栄養士及び調理師等研修会	10月13日	村山保健所	1
	介護予防ケアマネジメント研修会	10月13日	寒河江市	4
	ケアマネージャー連携研修会	10月25日	西村山郡薬剤師会	1
	山形県社会福祉振興会事務担当者研修会	11月6日	山形県社会福祉振興会	1
	生活相談員研究会、多職種合同研究会	11月9,10日	県老施協	1
	エンドオブライフケア研修	11月12日	県立河北病院	1
	西村山地区通報備蓄訓練	11月15日	村山地区特養	1
	29年度後期デイサービスセンター職員研修会	11月16日	県老施協	1
	介護支援専門員実務研修実習受け入れ説明会	11月20日	県長寿推進課	1
	地域ケア会議	11月21日	寒河江市	1
	年末調整説明会	11月22日	寒河江税務署	1
	防災管理者講習	11月22日	日本防火協会	1
	介護保険関連事業所連絡会研修会	11月27日	寒河江市	2
	高齢者セミナー	11月29日	認知症疾患医療センター	1
	山辺高実習担当者会議	12月13日	山辺高校	2
	自立支援の取り組みについて	12月14日	寒河江市	3
	寒河江市キャラバンメイト連絡会	1月11日	全国キャラバンメイト連絡協議会	1
	地域ケア会議	1月16日	寒河江市	1
	介護支援専門員研修	1月16、	県老施協	2
	介護保険関連事業所連絡会発表会	2月15日	寒河江市	2
	特養部会村山地区施設長会議	2月16日	県老施協	1
地域ケア会議	2月21日	寒河江市	1	
村山地区特養ホーム災害時施設相互応援協定防災訓練	3月9日	県老施協	1	
平成29年度介護保険施設等集団指導及び制度説明会	3月19,20日	県地域健康福祉課	3	
山形県特養部会栄養士研究会スキルアップセミナー	3月22,23日	老施協	1	

職場内研修

職場内研修	研修名	月日	場 所	参加者数
	リーダー会議	4月4日	多目的ホール	14
	全体会議	4月20日	多目的ホール	60
	リーダー会議	5月16日	多目的ホール	14
	ホームケアマネ研修会	6月14日	会議室	5
	リーダー会議	6月16日	多目的ホール	20
	リーダー会議	7月18日	多目的ホール	14
	離床コール勉強会	8月8日	談話コーナー	20
	リーダー会議	8月17日	多目的ホール	23
	リーダー会議	9月11日	多目的ホール	14
	リーダー会議	9月25日	多目的ホール	14
	リーダー会議	9月28日	多目的ホール	14
	リーダー会議	10月20日	多目的ホール	14
	リーダー会議	1月25日	多目的ホール	14

実習受入状況

平成29年度

表 10

実習期間	依頼機関	人数	内容
5月16日～5月26日(土、日除く9日間)	山形県立山辺高等学校	2	2年介護実習(デイ)
6月19日～6月30日(土、日除く10日間)	山形県立山辺高等学校	2	3年介護実習(ホーム)
10月2日～10月6日(5日間)	山形県立山辺高等学校	2	1年介護実習(ホーム)
1月19,25,26日(3日間)	山形県社会福祉協議会	2	介護支援専門員実務研修実習

2. デイサービスセンターしらいわ

1. 利用実績

デイサービス利用状況

表 11 各月利用実施状況 p 15

表 12 介護度別利用状況 p 15

① 指定居宅介護支援事業所及び関係機関との連携

当法人の居宅介護支援事業所をはじめ、他事業所の居宅介護支援事業所及び各市町村の包括支援センターなど関連機関と密に連携を取り介護保険制度の啓蒙に努めた。

2. 各種サービスの充実

社会環境及び身体状況を含む多様化した利用者ニーズをケアマネージャーや家族からの情報を活用して的確、迅速に把握することによりサービスの充実に努めた。

- ① 機能訓練指導員・理学療法士を継続して配属し、利用者の身体状況、精神状況に合わせて個別の計画を立て、機能訓練を実施。利用者の心身の機能維持・向上に取り組んだ。
- ② 多様化したニーズ(利用日の移動や複数回数利用等)に対し、随時個別に対応した。
- ③ 行事予定、しらいわの近況、介護保険の連絡事項などを連絡帳等を通して利用者本人および介護者との連絡を密にし、開かれた施設を目指し情報提供に努めた。
- ④ マイクロ波温熱器、ウォーターベッド等の物理療法機器を導入し、嘱託医、看護師の指導の下利用者へ使用し、機能訓練や余暇活動時間の有効活用に努めた。
- ⑤ 食事について、食べる楽しみだけでなく、目で見て選ぶ楽しみを感じてもらえるように主食及び副食の選択食を実施し、施設にいながらも外食気分を味わってもらえるような食事提供に努めた。

デイサービス利用状況

各月利用実施状況

表 11

平成29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	25	24	27	310
	実利用者数	52	54	53	47	48	49	51	50	49	45	46	49	593
	延べ利用者数	416	479	410	430	448	459	456	404	392	360	363	421	5038
	1日平均利用人数	16.6	17.7	15.8	16.5	16.6	17.7	17.5	15.5	15.7	14.4	15.1	15.6	16.3

平成29年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護	実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	25	24	27	310
	実利用者数	5	4	4	4	5	4	4	5	6	8	10	11	70
	延べ利用者数	29	24	26	26	30	24	24	30	32	39	41	52	377
	1日平均利用人数	1.2	0.9	1.0	1.0	1.1	0.9	0.9	1.2	1.3	1.6	1.7	1.9	1.2

デイサービスの 一日平均利用者数	17.8	18.6	16.8	17.5	17.7	18.6	18.5	16.7	17.0	16.0	16.8	17.5	17.5
デイサービスの 新規利用者数	3	2	1	0	2	2	2	3	4	2	6	7	34

介護度別利用状況

表 12

	男	女	合計	比率(%)
事業対象者	3	2	5	8.3
要支援1	0	2	2	3.3
要支援2	0	4	4	6.7
介護度1	5	12	17	28.3
介護度2	5	10	15	25.0
介護度3	3	10	13	21.7
介護度4	1	3	4	6.7
介護度5	0	0	0	0.0
合計	17	43	60	100.0

平成30年3月31日現在

3. しらいわ指定居宅介護支援事業所

利用者が要支援・要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるよう配慮するとともに、利用者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立って、提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は、特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立を守ることに努めた。

また、介護予防・日常生活支援総合事業の推進に努め、要支援者や事業対象者及び家族のニーズに対応することができた。

- (1) 介護保険に関する各種相談に対し、電話相談、面接相談に応じ、保険者である各市町村との連絡調整に努めた。
- (2) 被保険者の要介護認定に係わる申請について、利用申し込み者の意思を踏まえ、必要な協力を行った。
- (3) 介護保険制度の基、ケアマネジメントの理念に沿って、利用者とは各種サービスを結びつけながら、介護生活を総合的に支援することに努めた。
- (4) 利用者本人を取り巻く社会的環境と身体的機能についての課題分析を行うとともに家族の希望を取り入れながら、情報の収集に努め専門的な立場から、利用者に必要なサービスを総合的に判断し、ケアプラン作成を行った。
- (5) 課題分析、ケアプランの結果をもとに利用するサービスの内容、回数又それら提供するサービス事業所との連絡調整、担当者会議を必要に応じ開催し、モニタリングによる評価も行った。また、その記録の充実に努めた。
- (6) 利用者の自立支援、介護者の負担軽減を目的とし、常にサービスの継続的な管理と評価に努めた。
- (7) 月1回は定期訪問し、利用者・家族の状態やニーズを把握して各種サービスを紹介・提案し在宅介護を継続できるよう支援を行った。
- (8) 地域包括支援センターと連携し新規ケースや困難ケースへの取り組みに努め、寒河江市主催の連絡会や地域ケア会議などの各種研修にも積極的に参加をした。また、市からの認定調査依頼にも対応をした。
- (9) 主任ケアマネとして関係機関との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導が行うことができた。

・新規のケアマネージャー依頼件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	2	3	2	2	4	3	5	4	3	4	3	7	42

新規依頼 月平均 3.5 件

・介護保険請求件数 (ケアマネ 3名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	95	96	86	79	78	82	82	80	80	82	83	85	1008
ケアマネ 一人当たり の平均	31.6	32	28.6	26.3	26	27.3	27.3	26.6	26.6	27.3	27.6	28.3	

平均 84.0 件

・認定調査依頼提出件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29年度	7	8	8	4	10	12	8	10	8	12	8	14	109

月平均 9.1 件